

## 上越信用金庫

**中小企業景気動向調査**  
**上越市版**

〒942-0001

上越市中央1丁目11番1号

TEL 025-546-7145

FAX 025-545-4400

URL <http://www.joetsu-shinkin.jp>

担当:総合企画部

Vol. 28

2018/10 発行

上越信用金庫では、この程上越地域の中小企業の皆様からご協力をいただき、平成30年7月～9月期の景気の現状と平成30年10月～12月期の見通しを調査いたしました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

なお、今回は平成30年6月に行った前回調査結果および信金中央金庫が実施している同種の調査結果による全国平均とを比較して分析しています。

### ＜調査概要＞

1. 調査時点 : 平成30年8月15日～9月14日
2. 調査方法 : 上越地域の営業店得意先による調査表に基づくアンケート
3. 依頼先数 : 326社(有効回答数321社・回答率98.5%)【信金中央金庫アンケート分含む】
4. 分析方法 : 各質問項目について、「増加」(良い)－「減少」(悪い)の構成比の差＝判断D. I. に基づく分析  
D. I. とは、良い割合から悪い割合を差引いた値
5. 分析値 : 各数値は、四捨五入にて表示

### ＜概況＞

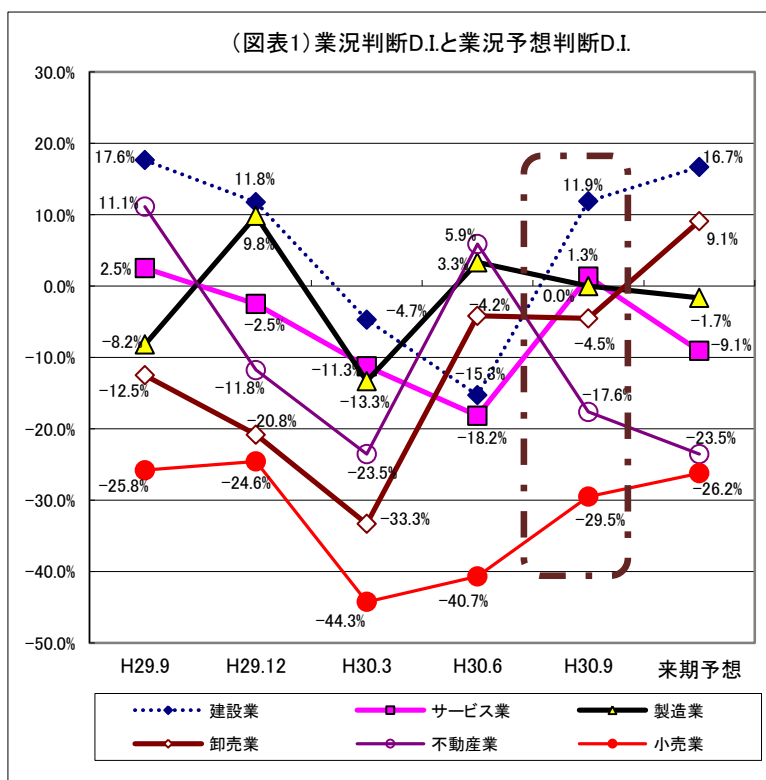
#### ～今期は業況改善、来期はわずかに低下の見通し～

平成30年7月～9月期(今期)の業況判断D. I. は、全国平均においては△2.1(前回△2.5)と前期に比べ0.4ポイントの改善となりました。当地においては、△3.4と前回△15.2より11.8ポイント業況判断D. I. が改善する結果となりました。

今期の業種別業況判断D. I. を見ると、全6業種中、3業種(小売業△29.5、サービス業1.3、建設業11.9)で改善となりました。サービス業については、4期ぶり、建設業については3期ぶりにプラス指数に転じています。

平成30年10月～12月期(来期)の業況予想判断D. I. は、△3.7となり、今期実績よりも0.3ポイント低下する見通しとなっています。

また、業種別の業況予想判断D. I. においては、3業種(卸売業9.1、小売業△26.2、建設業16.7)で改善の見通しとなっています。(図表1)



～売上額増加に伴い、収益も増加～

収益面では、売上額判断D. I. が7.8（前回△3.4）と11.2ポイント改善、収益判断D. I. は1.6（前回△8.1）と、9.7ポイント改善する結果となりました。来期の予想収益判断D. I. は△3.7と低下の見通しとなっています。

業種別の収益判断D. I. では、卸売業、サービス業、建設業の3業種で改善となりました。

また、業種別の来期10月～12月期の収益予想判断D. I. では、製造業5.0（当期実績△3.3）、卸売業18.2（当期実績13.6）、小売業0.0（当期実績△21.3）は改善の予想、サービス業△16.9（当期実績11.7）、建設業△2.4（当期実績13.1）、不動産業△23.5（当期実績△17.6）は低下の予想となっております。

～人手不足感は厳しい水準に～

人手過不足判断D. I. は、△40.2（マイナスは人手「不足」超）となり前回（△29.8）より人手不足感は強まりました。全国平均は△26.0（前期△26.0）となり引き続き厳しい水準となっています。業種別では、小売業△16.4、不動産業△11.8の2業種は弱まりましたが、製造業△36.7、卸売業△27.3、サービス業△46.8、建設業△63.1は人手不足感が強まりました。

～販売価格は2期連続で上昇、仕入価格は低下～

販売価格判断D. I. は、5.0（前回4.0）と改善し、前回に続きプラス指数となっています。全国平均は、5.4（前回5.3）と0.1ポイント改善し、8期連続でプラス指数を維持しています。また、仕入価格判断D. I. は、30.5（前回33.5）となり3.0ポイント低下する結果となりました。全国平均（25.0）は0.8ポイント低下しています。

～景況感の改善に伴い資金繰りは改善～

景況感の改善に伴い資金繰り判断D. I. は、△6.2（前回△13.4）と7.2ポイント改善しています。全国平均△5.1（前回△4.0）は1.1ポイント低下しています。

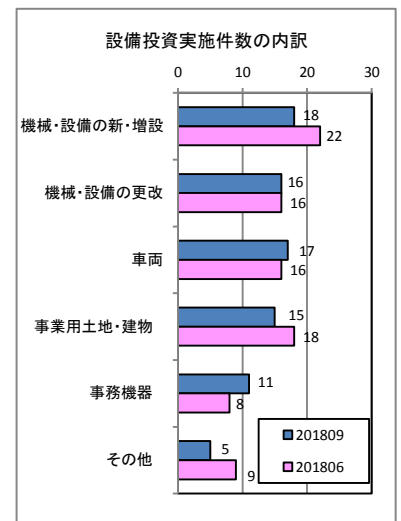
業種別の資金繰り判断D. I. は、不動産業5.9（前回5.9）は横ばい、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業は緩和しています。

～設備投資は全国平均以上、依然堅調に推移～

設備投資実施企業割合は、25.5となり、前回（27.6）より2.1ポイント低下したものの、全国平均22.1（前回22.6）を上回る投資マインドとなっています。

内訳としては、機械・設備の新・増設18件（前回22先）、機械・設備の更新16先（前回16先）、車両17先（前回16先）等となっています。

また、来期（予定）については、設備投資計画企業割合が24.6（当期実績25.5）と減少予定ではあるものの、依然、積極的な設備投資行動が見込まれています。

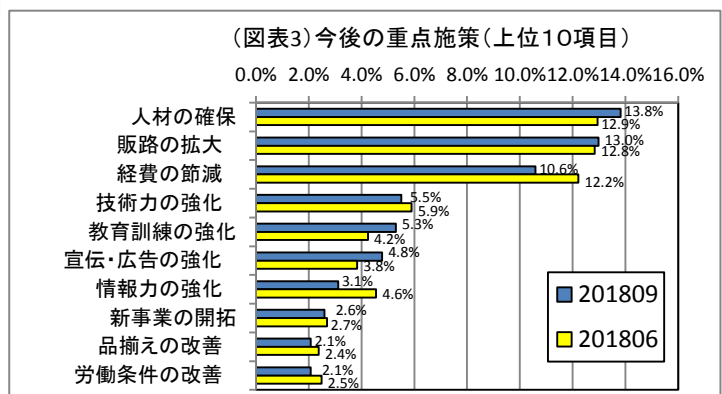
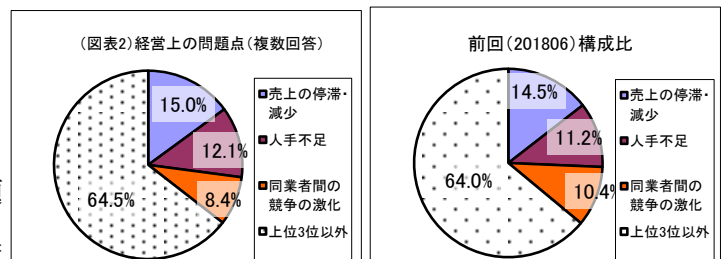


～経営上の問題点と重点施策～

経営上の問題点の上位3項目は、「売上の停滞・減少」、「人手不足」、「同業者間の競争の激化」となり、前回同様「人手不足」が「同業者間の競争の激化」を上回りました。また、この上位3項目が全体の約3割を占めており、大きな問題点として取り上げられています。（図表2）

これら経営の問題点を踏まえた、今後の重点施策について上位3位は、「人材の確保」13.8%（前回12.9%）、「販路の拡大」13.0%（前回12.8%）、「経費の節減」10.6%（前回12.2%）となりました。

その他の項目においては「教育訓練の強化」「広告・宣伝の強化」は増加した一方、「技術力の強化」「情報力の強化」「新事業の開拓」「品ぞろえの改善」「労働条件の改善」でポイントを減らす結果となっています。（図表3）



### <製造業>【回答企業60社】

今期の業況判断D. I. は、全国平均で0.7(前回3.7)と3.0ポイント低下しましたが、当地でも、0.0(前回3.3)となり、3.3ポイント低下しています。来期予想の業況判断D. I. は、 $\Delta 1.7$ となり、1.7ポイント低下の見通しとなっています。(図表1)

製造業内の主要4業種の今期の業種別業況判断D. I. は、木材・木製品0.0(前回 $\Delta 25.0$ )は改善、食料品 $\Delta 43.8$ (前回 $\Delta 40.0$ )、その他金属製品13.3(前回30.8)、その他の製造業 $\Delta 75.0$ (前回25.0)の3業種は低下となっています。

来期の業況判断D. I. は、食料品 $\Delta 12.5$ 、その他の製造業0.0は改善、木材・木製品0.0は横ばい、その他金属製品0.0は低下の見通しとなっています。

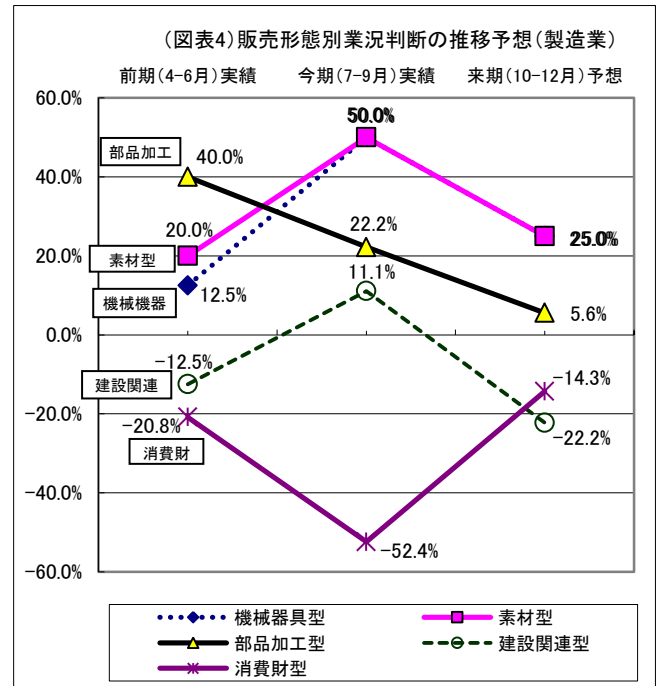
また、販売形態別の業況判断D. I. においては、機械器具型50.0(前回12.5)、建設関連型11.1(前回 $\Delta 12.5$ )、素材型50.0(前回20.0)は改善となり、消費財型 $\Delta 52.4$ (前回 $\Delta 20.8$ )、部品加工型22.2(前回40.0)は低下となりました。

来期の業況判断D. I. は、消費財型 $\Delta 14.3$ は改善、機械器具型25.0、建設関連型 $\Delta 22.2$ 、素材型25.0、部品加工型5.6は低下を予想しております。(図表4)

収益判断D. I. については、 $\Delta 3.3$ (前回 $\Delta 3.3$ )と横ばいでした。

来期の予想収益判断D. I. は5.0と改善する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 36.7$ (前回 $\Delta 31.7$ )となり、依然として慢性的な人手不足が続く厳しい状況となっています。



### <卸売業>【回答企業22社】

今期の業況判断D. I. は、全国平均 $\Delta 8.0$ (前回 $\Delta 10.6$ )は2.6ポイント改善しましたが、当地では $\Delta 4.5$ (前回 $\Delta 4.2$ )と0.3ポイント低下しました。来期の業況判断D. I. は9.1と13.6ポイント改善の見通しとなっています。(図表1)

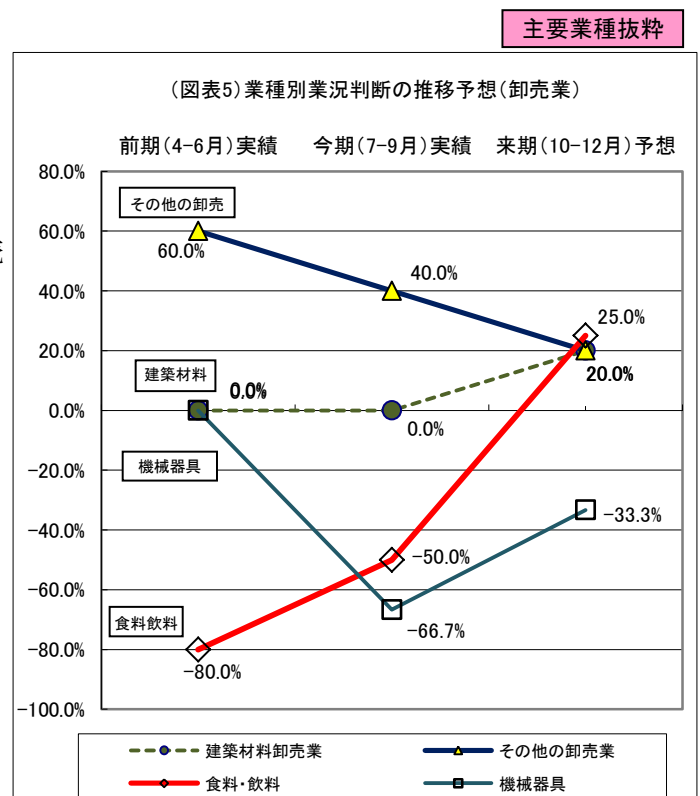
卸売業内の今期の業種別業況判断D. I. (上位4業種)は、食料飲料 $\Delta 50.0$ (前回 $\Delta 80.0$ )は改善、建築材料0.0(前回0.0)は横ばい、機械器具 $\Delta 66.7$ (前回0.0)、その他の卸売業40.0(前回60.0)は低下となりました。

来期の業種別業況判断D. I. は、食料飲料25.0、機械器具 $\Delta 33.3$ 、建築材料20.0は改善、その他の卸売業20.0は低下の見通しとなっています。(図表5)

収益面では売上判断D. I. は27.3(前回 $\Delta 4.2$ )と31.5ポイントの大幅な改善となり、収益判断D. I. も13.6(前回0.0)と大幅に改善しています。

来期の予想収益判断D. I. は18.2と4.6ポイント改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 27.3$ (前回 $\Delta 25.0$ )となり人手不足感は強まっています。



### <小売業>【回答企業61社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 29.5$  (前回 $\Delta 40.7$ ) と11.2ポイント改善しましたが、全国平均 $\Delta 20.8$  (前回 $\Delta 20.1$ ) 同様厳しい状況が続いています。

来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 26.2$ と3.3ポイント改善する見通しとなっています。(図表1)

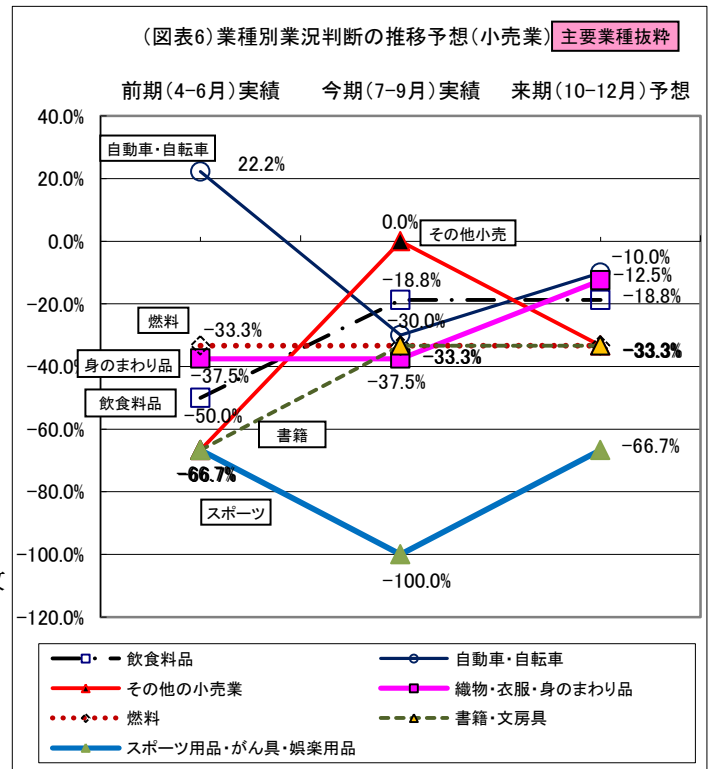
小売業内の今期の業種別業況判断D. I. は、上位7業種のうち、飲食料品、書籍・文房具、その他小売業の3業種の業況が改善、衣服・身のまわり品、燃料の2業種は横ばい、自動車・自転車、スポーツ用品・がん具の2業種は低下する結果となりました。

また、来期の業種別業況予想判断D. I. は、衣服・身のまわり品、自動車・自転車、スポーツ用品・がん具は改善、飲食料品、燃料、書籍・文房具は横ばい、その他小売業は低下する見通しで、小売業全体としては、景況感は改善の予想となっています。(図表6)

収益面では、売上額判断D. I. が $\Delta 19.7$  (前回 $\Delta 11.9$ ) と前期比7.8ポイント低下し、収益判断D. I. も $\Delta 21.3$  (前回 $\Delta 11.9$ ) と低下する結果となりました。

来期の予想収益判断D. I. は0.0と収益性は大幅に改善する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 16.4$  (前回 $\Delta 20.3$ ) となり、人手不足感は緩和されています。



### <サービス業>【回答企業77社】

今期の業況判断D. I. は、全国平均 $\Delta 5.0$  (前回 $\Delta 8.0$ ) は、改善しましたが、当地でも1.3 (前回 $\Delta 18.2$ ) と19.5ポイント改善しています。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 9.1$ となり低下する見通しとなっています。(図表1)

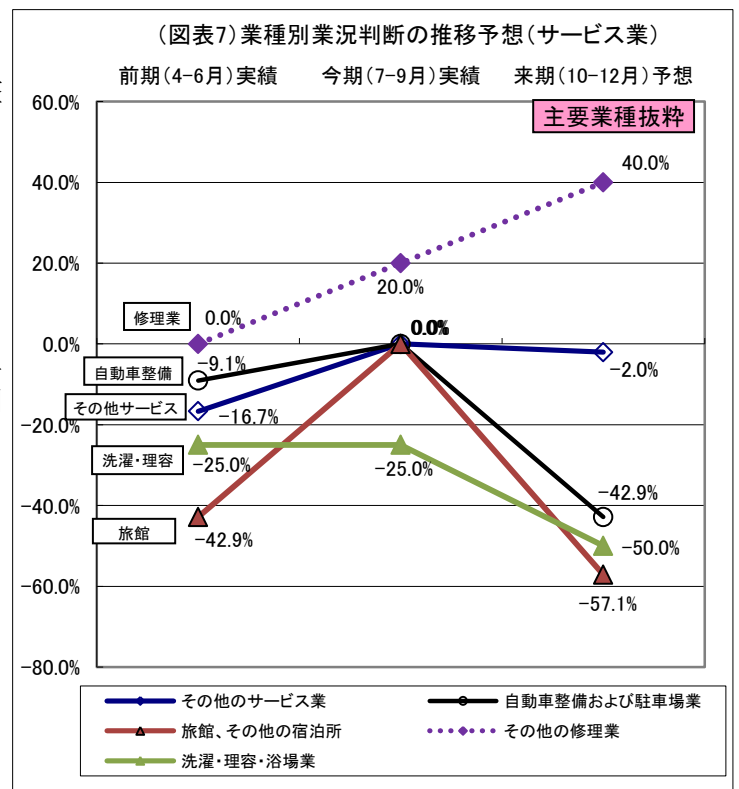
サービス業内の上位5業種の今期の業種別業況判断D. I. は、旅館業0.0 (前回 $\Delta 42.9$ )、自動車整備業0.0 (前回 $\Delta 9.15$ )、その他の修理業 $\Delta 20.0$  (前回0.0)、その他のサービス業0.0 (前回 $\Delta 16.7$ ) は改善、洗濯・理容 $\Delta 25.0$  (前回 $\Delta 25.0$ ) は横ばいとなりました。

また、来期の業種別業況予想判断D. I. では、その他の修理業40.0は改善、旅館業 $\Delta 57.1$ 、自動車整備業 $\Delta 42.9$ 、洗濯・理容 $\Delta 50.0$ 、その他のサービス業 $\Delta 2.0$ の4業種が低下を予想しており、サービス業全体では低下の見通しとなっています。(図表7)

収益判断D. I. は、11.7 (前回 $\Delta 9.1$ ) は20.8ポイントの改善となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 16.9$ と低下する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 46.8$  (前回 $\Delta 35.1$ ) となり人手不足感は強まり、全国平均 $\Delta 32.4$ 同様、慢性的な人手不足が続いている厳しい状況となっています。



### <建設業>【回答企業84社】

今期の業況判断D. I. は、11.9(前回△15.3)と27.2ポイントの改善となり3期ぶりにプラス指数に転じました。全国平均13.6(前回8.7)は、4.9ポイント改善となり、2016年9月以降プラス指数を推移しています。

来期の業況予想判断D. I. については16.7と4.8ポイント改善する見通しとなっています。(図表1)

建設業内の今期の業種別業況判断D. I. は、総合工事業17.5(前回△2.3)、職別工事業16.7(前回△7.4)、設備工事業△16.7(前回△71.4)となり3業種全てで改善となりました。

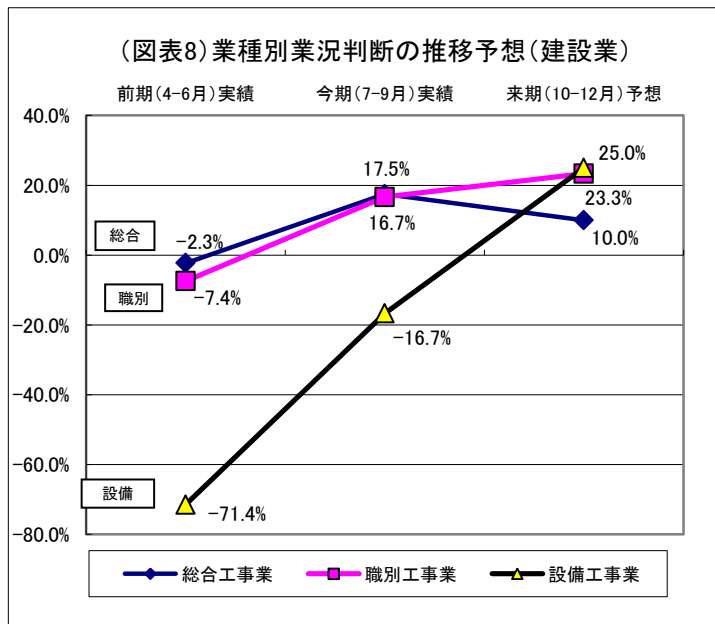
来期の業況予想については、職別工事業23.3、設備工事業25.0は改善、総合工事業10.0は低下の見通しとなっています。

(図表8)

収益判断D. I. については、13.1(前回△10.6)と23.7ポイントの改善となりました。

来期の予想収益判断D. I. は△2.4を予想しており、低下の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が△63.1(前回△34.1)と人手不足感は強まり、依然として慢性的な人手不足が続く非常に厳しい状況となっています。



### <不動産業>【回答企業17社】

今期の業況判断D. I. は、△17.6(前回5.9)と23.5ポイント低下しました。全国平均10.8(前回11.7)は15期連続でプラス指数を維持しています。

来期の業況予想判断D. I. は△23.5と低下する見通しとなっています。(図表1)

不動産業内の業種別では、貸家業・貸間業0.0(前回△100.0)は改善、建売・土地売買業0.0(前回33.3)、不動産代理業・仲介業△18.2(前回0.0)、その他の不動産業△25.0(前回25.0)は低下しました。

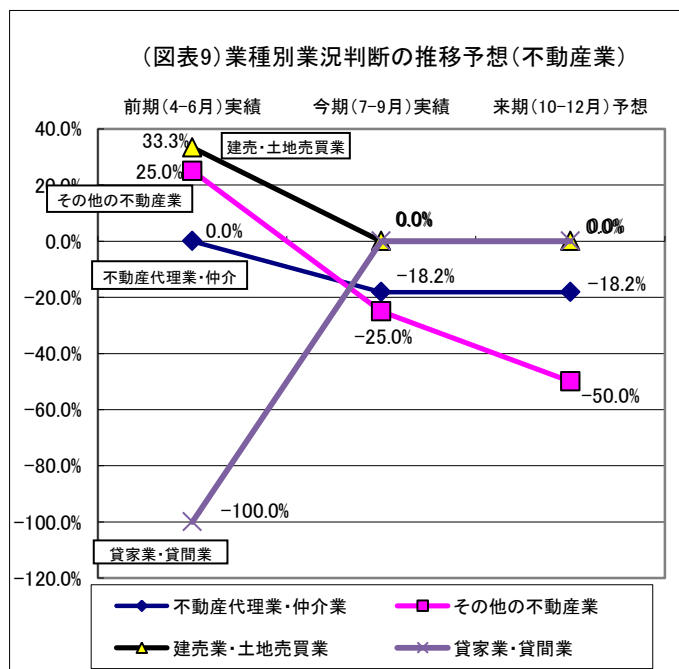
来期の業況予想D. I. は、貸家業・貸間業、建売・土地売買業、不動産代理業・仲介業は横ばい、その他の不動産業△50.0は低下の見通しとなっています。

(図表9)

収益判断D. I. については、△17.6(前回△5.9)となり11.7ポイントの低下となりました。

また、来期の予想収益判断D. I. については△23.5を予想しており、低下の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が△11.8(前回△17.6)となり、人手不足感は緩和されています。



以上

特別調査の結果について  
～中小企業経営者と「人生100年時代」～

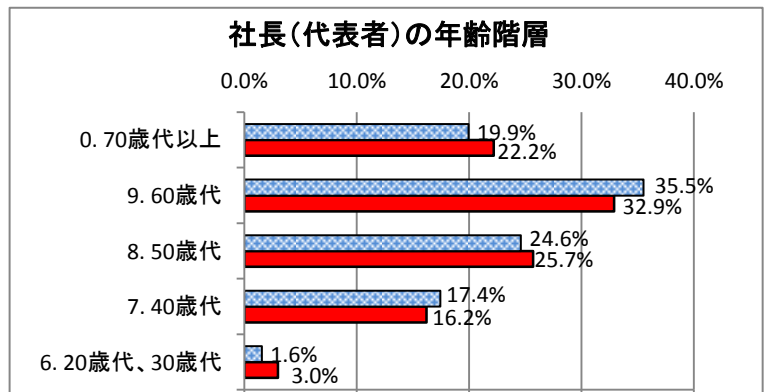
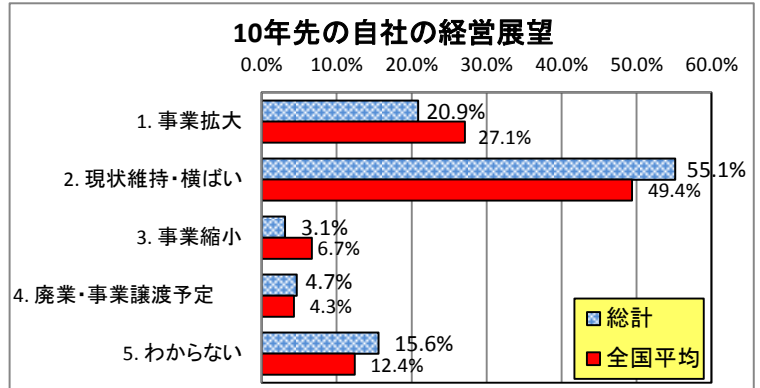
「人生100年時代」という言葉が生まれるなど、健康寿命の長期化に社会的関心が高まる中で、今後、中小企業経営者が現役で活躍する年齢も高まっていく可能性があります。そこで今回は、中小企業経営者における現役を続ける目途や、引退後の生活イメージ等について調査しました。

なお、複数回答の設問については、項目合計が100%をこえることとなりますのでお含みおき下さい。

【問1】10年先の自社の経営展望

10年先の自社の経営展望については、全国調査と同様、「現状維持・横ばい」が55.1%と最も高く、「事業拡大」(20.9%)が続いています。「事業縮小」は3.1%、「廃業・事業譲渡予定」は4.7%、「わからない」は12.4%となりました。

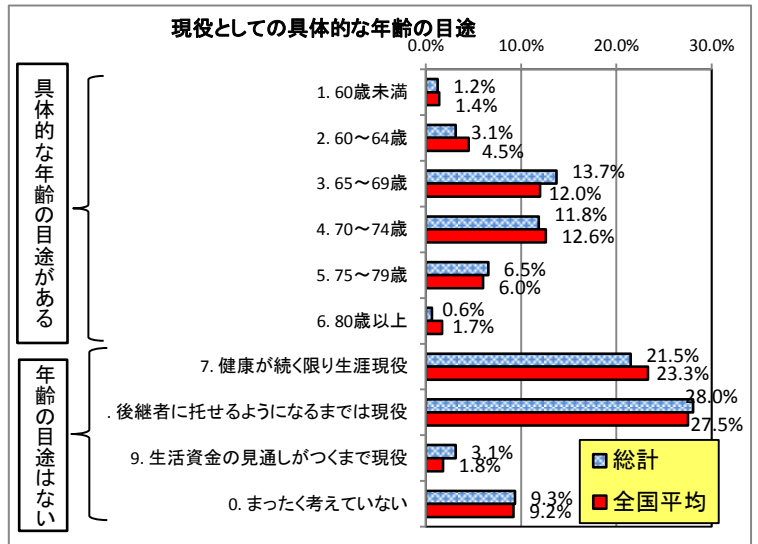
全国調査によると経営者の年齢階層別に見ると、若年経営者ほど事業拡大の意欲が高く、若い企業ほど「事業拡大」の回答割合が高い一方で、年齢が上になるにつれて「事業縮小」「廃業・事業譲渡予定」「わからない」の回答割合が高くなる傾向となっています。



問 1	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
10年先の自社の経営展望	1. 事業拡大	25.0%	18.2%	13.1%	22.1%	25.0%	20.9%	27.1%
	2. 現状維持・横ばい	48.3%	63.6%	55.7%	57.1%	57.1%	55.1%	49.4%
	3. 事業縮小	1.7%	0.0%	6.6%	3.9%	2.4%	3.1%	6.7%
	4. 廃業・事業譲渡予定	5.0%	0.0%	6.6%	2.6%	3.6%	4.7%	4.3%
	5. わからない	18.3%	18.2%	18.0%	13.0%	11.9%	23.5%	15.6%
社長(代表者)の年齢階層	6. 20歳代、30歳代	1.7%	4.5%	0.0%	3.9%	0.0%	1.6%	3.0%
	7. 40歳代	15.0%	18.2%	11.5%	15.6%	22.6%	17.4%	16.2%
	8. 50歳代	26.7%	27.3%	26.2%	24.7%	23.8%	24.6%	25.7%
	9. 60歳代	35.0%	31.8%	27.9%	42.9%	36.9%	35.5%	32.9%
	0. 70歳代以上	20.0%	18.2%	32.8%	11.7%	16.7%	29.4%	19.9%

**【問2】現役としての具体的な年齢の目途**

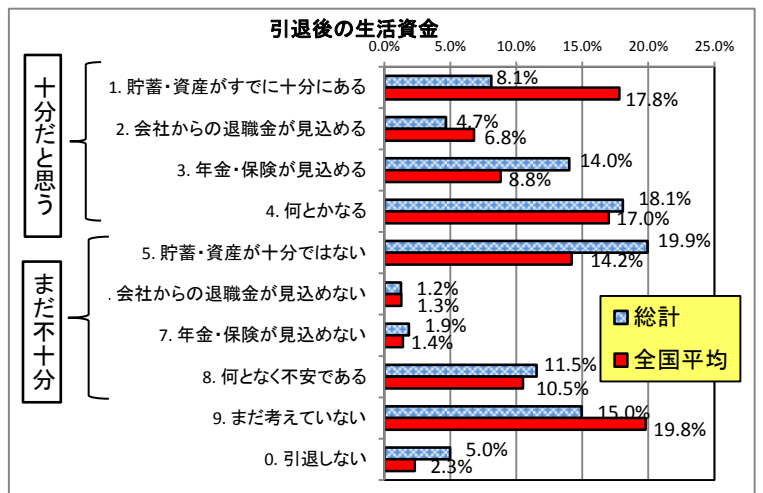
経営者として現役を続ける目途については、「具体的な年齢の目途がある」が36.9%、「具体的な年齢の目途はない」が61.9%となっており、全国調査によると年齢の目途がある企業では「70～74歳（12.6%）」や「65～69歳（12.0%）」が最も高く、目途がない企業では「後継者に托せよう」という考えが最も多く、健康が続き限り生涯現役（23.3%）が最も多い。全国調査の規模別にみると、規模が大きい企業ほど「後継者に托せよう」という考えが最も多く、規模が小さい企業ほど「健康が続き限り生涯現役」の割合が高くなっている。



問 2	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
具体的な年齢の目途がある								
1. 60歳未満	0.0%	0.0%	1.6%	1.3%	2.4%	0.0%	1.2%	1.4%
2. 60～64歳	1.7%	0.0%	1.6%	5.2%	4.8%	0.0%	3.1%	4.5%
3. 65～69歳	10.0%	13.6%	9.8%	19.5%	13.1%	17.6%	13.7%	12.0%
4. 70～74歳	16.7%	18.2%	6.6%	9.1%	10.7%	23.5%	11.8%	12.6%
5. 75～79歳	1.7%	0.0%	3.3%	5.2%	16.7%	0.0%	6.5%	6.0%
6. 80歳以上	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	5.9%	0.6%	1.7%
年齢の目途はない								
7. 健康が続き限り生涯現役	20.0%	27.3%	29.5%	24.7%	13.1%	17.6%	21.5%	23.3%
8. 後継者に托せるようになるまでは現役	33.3%	22.7%	32.8%	23.4%	28.6%	17.6%	28.0%	27.5%
9. 生活資金の見通しがつくまで現役	0.0%	9.1%	3.3%	3.9%	3.6%	0.0%	3.1%	1.8%
0. まったく考えていない	15.0%	9.1%	9.8%	5.2%	7.1%	17.6%	9.3%	9.2%

**【問3】引退後の生活資金**

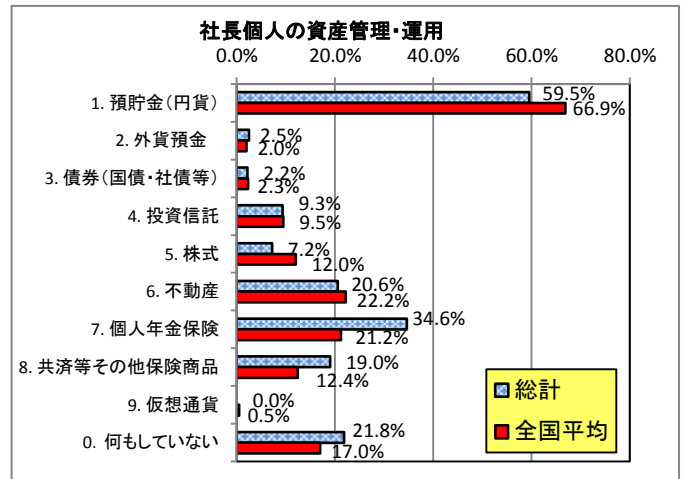
経営者を引退した後の生活資金については、「十分だと思う」が44.9%となりました。対して、「まだ不十分だと思う」は34.5%となりました。また、「まだ考えていない」は15.0%、「引退しない」は5.0%となっています。「十分だと思う」の内訳をみると、「年金・保険が見込める（14.0%）」、「何とかなる（18.1%）」が高くなっています。また、「まだ不十分だと思う」の内訳をみると、「貯蓄・資産が十分ではない（19.9%）」、「なんとなく不安である（11.5%）」が高くなっています。



問 3	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
十分だと思う								
1. 貯蓄・資産がすでに十分にある	5.0%	13.6%	9.8%	11.7%	3.6%	11.8%	8.1%	17.8%
2. 会社からの退職金が見込める	3.3%	4.5%	3.3%	2.6%	9.5%	0.0%	4.7%	6.8%
3. 年金・保険が見込める	13.3%	18.2%	14.8%	9.1%	16.7%	17.6%	14.0%	8.8%
4. 何とかなる	15.0%	13.6%	18.0%	15.6%	22.6%	23.5%	18.1%	17.0%
まだ不十分								
5. 貯蓄・資産が十分ではない	20.0%	18.2%	21.3%	22.1%	15.5%	29.4%	19.9%	14.2%
6. 会社からの退職金が見込めない	3.3%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	1.2%	1.3%
7. 年金・保険が見込めない	0.0%	4.5%	0.0%	3.9%	2.4%	0.0%	1.9%	1.4%
8. なんとなく不安である	18.3%	9.1%	14.8%	9.1%	7.1%	11.8%	11.5%	10.5%
9. まだ考えていない	15.0%	13.6%	13.1%	16.9%	16.7%	5.9%	15.0%	19.8%
0. 引退しない	5.0%	4.5%	4.9%	5.2%	6.0%	0.0%	5.0%	2.3%

【問4】社長個人の資産管理・運用

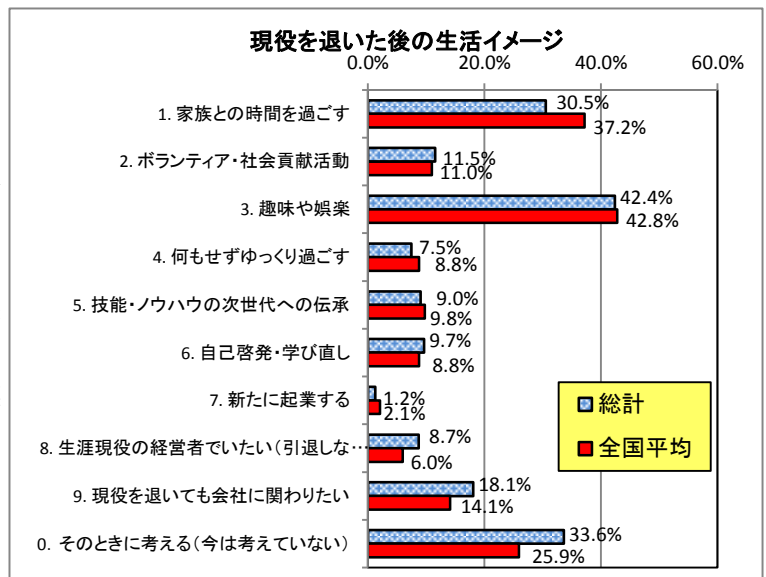
経営者の個人としての資産管理・運用については、全国平均同様「預貯金（円貨）」が59.5%と、ほかの選択肢を大きく引き離しています。以下、「個人年金保険（34.6%）」、「不動産（20.6%）」、「共済等その他保険商品（19.0%）」、「投資信託（9.3%）」、「株式（7.2%）」が続きました。また、「何もしていない」は21.8%となりました。  
業種別では、不動産業で「不動産」の回答割合が高くなっています。



問 4	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 預貯金(円貨)	66.7%	45.5%	60.7%	55.8%	60.7%	58.8%	59.5%	66.9%
2. 外貨預金	1.7%	0.0%	4.9%	2.6%	2.4%	0.0%	2.5%	2.0%
3. 債券(国債・社債等)	6.7%	0.0%	1.6%	2.6%	0.0%	0.0%	2.2%	2.3%
4. 投資信託	11.7%	13.6%	6.6%	6.5%	10.7%	11.8%	9.3%	9.5%
5. 株式	10.0%	4.5%	6.6%	6.5%	8.3%	0.0%	7.2%	12.0%
6. 不動産	10.0%	22.7%	24.6%	14.3%	23.8%	52.9%	20.6%	22.2%
7. 個人年金保険	36.7%	40.9%	31.1%	31.2%	33.3%	52.9%	34.6%	21.2%
8. 共済等その他保険商品	20.0%	4.5%	21.3%	11.7%	31.0%	0.0%	19.0%	12.4%
9. 仮想通貨	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
0. 何もしていない	20.0%	36.4%	24.6%	22.1%	17.9%	17.6%	21.8%	17.0%

【問5】現役を退いた後の生活イメージ

現役を退いた後の生活イメージについては、「趣味や娯楽（42.4%）」が最も高く、以下、「そのときに考える（今は考えていない）」（33.6%）」、「家族との時間を過ごす」（30.5%）」、「現役を退いても会社に関わりたい（18.1%）」、「ボランティア・社会貢献活動（11.5%）」が続いています。  
全国調査によると「趣味や娯楽」や「家族との時間を過ごす」は、地域や規模、業種を問わず、回答割合が高くなっています。また、経営者の年齢階層別にみると、若い企業ほど「家族との時間を過ごす」の回答割合が高くなる傾向となっています。



問 5	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 家族との時間を過ごす	31.7%	18.2%	21.3%	37.7%	32.1%	35.3%	30.5%	37.2%
2. ボランティア・社会貢献活動	8.3%	4.5%	11.5%	14.3%	14.3%	5.9%	11.5%	11.0%
3. 趣味や娯楽	36.7%	45.5%	32.8%	44.2%	46.4%	64.7%	42.4%	42.8%
4. 何もせずゆっくり過ごす	5.0%	4.5%	11.5%	3.9%	7.1%	23.5%	7.5%	8.8%
5. 技能・ノウハウの次世代への伝承	20.0%	9.1%	3.3%	7.8%	8.3%	0.0%	9.0%	9.8%
6. 自己啓発・学び直し	8.3%	13.6%	8.2%	6.5%	13.1%	11.8%	9.7%	8.8%
7. 新たに起業する	0.0%	4.5%	0.0%	2.6%	1.2%	0.0%	1.2%	2.1%
8. 生涯現役の経営者でいたい(引退しない)	8.3%	9.1%	11.5%	6.5%	8.3%	11.8%	8.7%	6.0%
9. 現役を退いても会社に関わりたい	20.0%	9.1%	19.7%	19.5%	19.0%	5.9%	18.1%	14.1%
0. そのときに考える(今は考えていない)	30.0%	40.9%	41.0%	23.4%	38.1%	35.3%	33.6%	25.9%



合計 / D.I.													
業種区分	項目	分析基準	201606	201609	201612	201703	201706	201709	201712	201803	201806	201809	201812
総計	<業況>(実績)		-27.8	-16.2	-12.0	-27.3	-10.6	-1.5	-2.4	-18.3	-15.2	-3.4	
	<業況>(予想)		-21.8	-19.3	-19.9	-31.4	-11.6	-9.3	-10.0	-25.6	-7.3	-6.5	-3.7
	<売上額>		-7.3	-2.4	0.3	-21.6	8.7	4.2	5.2	-25.7	-3.4	7.8	
	<売上額>(前年同期比)		-20.8	-15.3	-10.8	-6.9	-3.1	-2.7	-1.5	-10.7	-1.9	4.4	
	<収益>		-15.9	-11.0	-7.1	-28.2	-3.1	0.6	-2.4	-29.1	-8.1	1.6	
	<収益額>(前年同期比)		-22.6	-15.9	-14.2	-10.3	-9.0	-4.8	-9.5	-15.6	-8.4	-5.6	
	<収益>(予想)		-0.3	-8.0	-12.2	-32.9	4.7	-4.7	-11.5	-27.7	-0.3	2.5	-3.7
	<販売価格>		-8.0	-7.6	-4.3	-6.3	-0.6	1.8	0.9	-4.9	4.0	5.0	
	<仕入れ価格>		11.9	8.9	16.3	19.7	22.4	20.9	27.1	25.1	33.5	30.5	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-21.7	-17.7	-15.4	-19.7	-11.2	-13.9	-10.4	-13.8	-13.4	-6.2	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-14.7	-16.2	-25.8	-20.7	-26.7	-32.1	-37.5	-30.0	-29.8	-40.2	
	<残業時間>		-6.7	-4.9	5.2	-7.2	-3.4	4.2	7.0	6.7	-0.3	5.3	
	<借入難易度>【易 - 難】		-4.0	-0.6	-2.2	-1.9	-0.3	-3.0	3.0	0.0	1.9	0.9	
	<設備稼働状況>		-13.1	-13.8	-16.9	-12.2	-15.2	-13.9	-14.9	-12.2	-16.8	-15.0	
	<設備投資割合>(実績)【%】		24.5	25.1	27.7	25.4	29.2	27.9	28.4	27.2	27.6	25.5	
	<設備投資割合>(予定)【%】		29.9	26.0	22.0	24.6	22.3	26.4	23.0	23.5	26.3	26.4	24.6
	製造業	<業況>(実績)		-36.1	-26.2	-19.7	-19.4	-4.8	-8.2	9.8	-13.3	3.3	0.0
<業況>(予想)			-29.0	-24.6	-27.9	-27.9	-14.5	-12.9	-13.1	-13.1	-6.7	-5.0	-1.7
<売上額>			-19.7	-9.8	1.6	-9.7	3.2	-9.8	21.3	-18.3	-1.7	-3.3	
<売上額>(前年同期比)			-19.7	-23.0	-19.7	-3.2	4.8	4.9	23.0	5.0	6.7	-1.7	
<収益>			-23.0	-16.4	-3.3	-19.4	-3.2	-19.7	14.8	-21.7	-3.3	-3.3	
<収益額>(前年同期比)			-21.3	-21.3	-19.7	1.6	4.8	11.5	19.7	-3.3	0.0	-5.0	
<収益>(予想)			3.2	-3.3	-1.6	-18.0	-11.3	-6.5	-16.4	-14.8	0.0	-13.3	5.0
<販売価格>			-11.5	3.3	1.6	3.2	0.0	-1.6	8.2	8.3	8.3	11.7	
<仕入れ価格>			4.9	8.2	19.7	25.8	32.3	19.7	44.3	38.3	38.3	40.0	
<資金繰り>【楽 - 苦】			-19.7	-23.0	-13.1	-19.4	-8.1	-26.2	-16.4	-6.7	-8.3	-1.7	
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-3.3	-9.8	-23.0	-21.0	-35.5	-37.7	-44.3	-31.7	-31.7	-36.7	
<残業時間>			-3.3	-3.3	1.6	9.7	14.5	11.5	18.0	13.3	10.0	11.7	
<借入難易度>【易 - 難】			-1.6	-4.9	0.0	-1.6	-3.2	-4.9	4.9	1.7	1.7	1.7	
<設備稼働状況>			-11.5	-16.4	-26.2	-21.0	-17.7	-23.0	-24.6	-30.0	-31.7	-21.7	
<設備投資割合>(実績)【%】			31.1	37.7	31.1	27.4	45.2	36.1	31.1	36.7	30.0	30.0	
<設備投資割合>(予定)【%】			35.5	31.1	24.6	29.5	27.4	37.1	26.2	34.4	41.7	36.7	28.3
卸売業		<業況>(実績)		-31.8	-22.7	-4.5	-45.5	-30.4	-12.5	-20.8	-33.3	-4.2	-4.5
	<業況>(予想)		-29.2	-31.8	-22.7	-31.8	-9.1	-26.1	-25.0	-45.8	-8.3	-25.0	9.1
	<売上額>		-9.1	-18.2	-13.6	-22.7	0.0	4.2	4.2	-37.5	-4.2	27.3	
	<売上額>(前年同期比)		-22.7	-36.4	13.6	4.5	-13.0	-33.3	-20.8	-37.5	0.0	0.0	
	<収益>		-9.1	-22.7	-22.7	-36.4	-17.4	4.2	16.7	-33.3	0.0	13.6	
	<収益額>(前年同期比)		-13.6	-40.9	-18.2	-4.5	-26.1	-29.2	0.0	-33.3	-4.2	-9.1	
	<収益>(予想)		-25.0	-22.7	-18.2	-36.4	27.3	-13.0	-8.3	-45.8	-12.5	-4.2	18.2
	<販売価格>		0.0	-4.5	-4.5	4.5	13.0	4.2	0.0	8.3	16.7	4.5	
	<仕入れ価格>		18.2	13.6	27.3	13.6	26.1	12.5	25.0	33.3	41.7	45.5	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-18.2	-31.8	-9.1	-22.7	-8.7	-12.5	-12.5	-8.3	-4.2	0.0	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-13.6	-13.6	-22.7	0.0	-8.7	-4.2	-16.7	-33.3	-25.0	-27.3	
	<残業時間>		-9.1	9.1	22.7	-18.2	0.0	-8.3	8.3	0.0	-4.2	0.0	
	<借入難易度>【易 - 難】		-22.7	-13.6	-9.1	0.0	0.0	-4.2	4.2	4.2	16.7	4.5	
	<設備稼働状況>		-13.6	-13.6	-18.2	0.0	0.0	-12.5	-12.5	-12.5	-12.5	-9.1	
	<設備投資割合>(実績)【%】		18.2	22.7	18.2	27.3	21.7	12.5	16.7	20.8	16.7	9.1	
	<設備投資割合>(予定)【%】		37.5	31.8	18.2	22.7	22.7	17.4	16.7	8.3	12.5	29.2	4.5
	小売業	<業況>(実績)		-29.7	-32.8	-36.5	-40.4	-23.2	-25.8	-24.6	-44.3	-40.7	-29.5
<業況>(予想)			-25.4	-31.3	-39.1	-47.6	-33.3	-28.6	-25.8	-39.3	-21.3	-23.7	-26.2
<売上額>			-9.4	-17.2	-19.0	-26.3	3.6	-8.1	-14.8	-44.3	-11.9	-19.7	
<売上額>(前年同期比)			-35.9	-35.9	-38.1	-19.3	-14.3	-9.7	-14.8	-34.4	-22.0	-3.3	
<収益>			-17.2	-25.0	-30.2	-38.6	-10.7	-12.9	-24.6	-45.9	-11.9	-21.3	
<収益額>(前年同期比)			-31.3	-26.6	-36.5	-33.3	-25.0	-9.7	-18.0	-39.3	-23.7	-13.1	
<収益>(予想)			-6.3	-31.3	-25.0	-44.4	-8.8	-12.5	-16.1	-34.4	-3.3	-10.2	0.0
<販売価格>			-3.1	-6.3	-3.2	-7.0	7.1	1.6	13.1	-16.4	10.2	9.8	
<仕入れ価格>			10.9	4.7	14.3	10.5	17.9	21.0	21.3	14.8	30.5	16.4	
<資金繰り>【楽 - 苦】			-25.0	-29.7	-38.1	-26.3	-16.1	-25.8	-21.3	-31.1	-32.2	-21.3	
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-10.9	-1.6	-3.2	-8.8	-16.1	-21.0	-26.2	-9.8	-20.3	-16.4	
<残業時間>			1.6	-1.6	3.2	-8.8	-1.8	0.0	0.0	-6.6	-3.4	-3.3	
<借入難易度>【易 - 難】			-12.5	-6.3	-7.9	-10.5	0.0	-4.8	-3.3	-4.9	1.7	-8.2	
<設備稼働状況>			-7.8	-14.1	-15.9	-7.0	-8.9	-4.8	-6.6	-3.3	-13.6	-11.5	
<設備投資割合>(実績)【%】			17.2	14.1	17.5	10.5	17.9	17.7	9.8	13.1	22.0	14.8	
<設備投資割合>(予定)【%】			20.6	21.9	12.5	17.5	12.3	14.3	11.3	9.8	16.4	20.3	23.0
サービス業		<業況>(実績)		-17.3	0.0	-2.5	-19.2	-11.3	2.5	-2.5	-11.3	-18.2	1.3
	<業況>(予想)		-17.1	-12.3	-5.1	-21.5	-10.3	-8.8	-6.3	-21.3	-3.8	-10.4	-9.1
	<売上額>		2.5	19.0	13.9	-6.4	6.3	10.0	7.5	-16.3	-5.2	22.1	
	<売上額>(前年同期比)		-12.3	15.2	8.9	-9.0	-2.5	-5.0	-3.8	-16.3	-3.9	18.2	
	<収益>		-6.2	12.7	12.7	-17.9	-5.0	5.0	-5.0	-23.8	-9.1	11.7	
	<収益額>(前年同期比)		-14.8	7.6	7.6	-9.0	-10.0	-8.8	-23.8	-22.5	-13.0	1.3	
	<収益>(予想)		2.4	-2.5	-2.5	-26.6	10.3	-1.3	-7.5	-20.0	-5.0	6.5	-16.9
	<料金価格>		-3.7	3.8	0.0	1.3	1.3	5.0	-6.3	2.5	2.6	5.2	
	<仕入れ価格>		16.0	17.7	31.6	35.9	25.0	31.3	32.5	38.8	35.1	32.5	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-23.5	-10.1	-11.4	-14.1	-15.0	-6.3	-7.5	-15.0	-13.0	0.0	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-32.1	-29.1	-32.9	-29.5	-31.3	-30.0	-40.0	-36.3	-35.1	-46.8	
	<残業時間>		-9.9	-7.6	3.8	-12.8	-8.8	0.0	1.3	6.3	-1.3	6.5	
	<借入難易度>【易 - 難】		1.2	1.3	-5.1	-1.3	-6.3	-2.5	5.0	-1.3	-1.3	0.0	
	<設備稼働状況>		-25.9	-22.8	-24.1	-20.5	-30.0	-21.3	-23.8	-16.3	-24.7	-20.8	
	<設備投資割合>(実績)【%】		32.1	31.6	34.2	32.1	35.0	36.3	36.3	35.0	33.8	35.1	
	<設備投資割合>(予定)【%】		37.8	32.1	30.4	29.1	28.2	31.3	31.3	25.0	25.0	26.0	29.9

合計 / D.I.														
業種区分	項目	分析基準	201606	201609	201612	201703	201706	201709	201712	201803	201806	201809	201812	
建設業	<業況>(実績)		-29.3	-9.5	6.0	-34.1	-6.0	17.6	11.8	-4.7	-15.3	11.9		
	<業況>(予想)		-23.2	-6.1	-16.7	-34.9	-3.7	2.4	0.0	-23.5	-1.2	11.8	16.7	
	<売上額>		-4.9	-1.2	9.6	-43.9	12.0	15.3	10.6	-22.4	-2.4	21.4		
	<売上額>(前年同期比)		-15.9	-19.0	-3.6	-7.3	-3.6	5.9	-2.4	8.2	4.7	6.0		
	<収益>		-20.7	-14.3	1.2	-40.2	-1.2	17.6	2.4	-25.9	-10.6	13.1		
	<収益額>(前年同期比)		-24.4	-21.4	-8.4	-9.8	-7.2	-4.7	-12.9	3.5	-2.4	-2.4		
	<収益>(予想)		-1.2	4.9	-16.7	-43.4	9.8	-2.4	-7.1	-32.9	2.4	17.6	-2.4	
	<請負価格>		-9.8	-20.2	-8.4	-20.7	-9.6	7.1	-3.5	-12.9	-2.4	3.6		
	<仕入れ価格>		17.1	9.5	6.0	14.6	21.7	24.7	23.5	17.6	36.5	39.3		
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-20.7	-11.9	-8.4	-24.4	-8.4	-9.4	-2.4	-7.1	-10.6	-8.3		
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-11.0	-22.6	-41.0	-26.8	-31.3	-49.4	-48.2	-38.8	-34.1	-63.1		
	<残業時間>		-12.2	-9.5	12.0	-9.8	-12.0	11.8	10.6	17.6	-4.7	7.1		
	<借入難易度>【易 - 難】		-1.2	8.3	2.4	2.4	4.8	0.0	4.7	3.5	-2.4	6.0		
	<設備稼働状況>		-8.5	-6.0	-7.2	-7.3	-10.8	-10.6	-9.4	-4.7	-5.9	-11.9		
	<設備投資割合>(実績)【%】		24.4	23.8	34.9	32.9	27.7	31.8	41.2	30.6	32.9	31.0		
	<設備投資割合>(予定)【%】		29.3	23.2	25.0	27.7	24.4	30.1	28.2	32.9	32.9	28.2	28.6	
	不動産業	<業況>(実績)		-29.4	-17.6	-35.3	5.6	16.7	11.1	-11.8	-23.5	5.9	-17.6	
		<業況>(予想)		11.1	-35.3	0.0	-11.8	22.2	27.8	11.1	-23.5	-5.9	0.0	-23.5
		<売上額>		-11.8	-5.9	-23.5	-11.1	50.0	16.7	-17.6	-29.4	23.5	-11.8	
		<売上額>(前年同期比)		-29.4	-5.9	-35.3	16.7	16.7	5.6	0.0	-11.8	11.8	-11.8	
<収益>			-17.6	-17.6	-47.1	-5.6	38.9	11.1	-23.5	-29.4	-5.9	-17.6		
<収益額>(前年同期比)			-35.3	-5.9	-35.3	5.6	11.1	5.6	-11.8	-11.8	0.0	-23.5		
<収益>(予想)			33.3	-5.9	-17.6	-17.6	27.8	11.1	-22.2	-35.3	35.3	17.6	-23.5	
<販売価格>			-35.3	-47.1	-29.4	-16.7	-11.1	-27.8	-11.8	-23.5	-11.8	-29.4		
<仕入れ価格>			-11.8	-23.5	-23.5	-11.1	-11.1	-27.8	-17.6	-23.5	-5.9	-23.5		
<資金繰り>【楽 - 苦】			-17.6	0.0	0.0	0.0	-5.6	11.1	0.0	-11.8	5.9	5.9		
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-5.9	-5.9	-17.6	-16.7	-11.1	-16.7	-17.6	-17.6	-17.6	-11.8		
<残業時間>			-5.9	-5.9	-23.5	-11.1	-11.1	-5.6	0.0	-11.8	5.9	5.9		
<借入難易度>【易 - 難】			5.9	0.0	11.8	0.0	11.1	-5.6	0.0	-5.9	17.6	5.9		
<設備稼働状況>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(実績)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(予定)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

